

第1回（仮称）京都駅東南部エリア事業者等まちづくり連絡会議 摘録

《日時》

令和7年8月28日（木）午前11時00分～午後0時20分

《場所》

京都市役所本庁舎 第2会議室

《出席者》

【会員】

- 一般社団法人アーツシード京都
代表理事 吾郷 賢
- 京都駅東南部エリアプロジェクト有限責任事業組合
代表組合員チームラボ株式会社 松本 明耐
代表組合員チームラボ株式会社 今中 郁乃
株式会社京阪レジャーサービスチームラボ事業部 長澤 正治
REI SUPER MANAGERS 株式会社 京都駅東南部エリアプロジェクトプロジェクトマネージャー 吉澤 芙美香
- 京都駅ビル開発株式会社
営業部担当部長・地域共生室室長 野口 明
営業部地域共生推進室 課長 田中 暢宏
営業部営業企画課 課長 鳴滝 翔吾
- 西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）
近畿統括本部 京滋支社 副支社長 杉山 幸介
近畿統括本部 京滋支社 地域共生室 室長 今岡 弘典
近畿統括本部 京滋支社 地域共生室 主査 上羽 正義
近畿統括本部 京滋支社 地域共生室 鹿沼 大典
- 京都市地域・多文化交流ネットワークセンター
センター長 前川 修
- 京都市
総合企画局担当局長 安田 真也
総合企画局プロジェクト推進室長 金森 敦司

【オブザーバー】

- 山王学区自治連合会
会長 九十九 壽雄
副会長 山田 万里子
- 京都市立芸術大学
地域協働担当課長 向井 豊浩
- 南区役所
地域力推進室まちづくり推進課長 佐伯 智浩

【事務局】

- 京都市総合企画局プロジェクト推進室
プロジェクト推進第一課長 渡邊 俊幸
プロジェクト推進第四係長 太田 侑希
青木 辰憲

《摘録》

1 開会挨拶

2 自己紹介

3 京都駅東南部エリア活性化方針の進捗状況について

○事務局から説明

4 組織の設置について

(1) 組織の設置目的等

○事務局から説明

(2) 組織概要

ア 組織名称（案）

○事務局から説明のうえ意見確認

正式名称を「京都駅東南部エリア事業者等まちづくり連絡会議」とすることで合意した。

愛称を「Kyoto Southeast Connect」とすることで合意した。

イ 規約（案）

○事務局から説明のうえ意見確認

◆西日本旅客鉄道株式会社 杉山副支社長

予算を伴わないということは、会計年度といった期間を設けて活動する会議ではないという認識でよろしいか。

◆事務局

お見込みのとおり。会議については年に1回は対面で行うこととし、定期的にオンライン開催も含め実務的な話ができたらと思う。

規約案のとおり合意

5 今後の協議事項について（確認）

(1) 共通ビジョン（仮）の設定

○事務局から説明

今後、連絡会議としての議論を踏まえ正式に共通ビジョンを設定する予定である。

(2) 主な活動イメージ

○事務局から説明のうえ意見確認

◆山王学区自治連合会 九十九会長

京都駅東南部エリアは山王学区を東西に分断を生んでいる。山王学区の竹田街道より東側ではチームラボのミュージアムが開業するなどまちづくりが進んでいるが、西側は置き去りになっている。都市開発も大事だが、若者が安価に住むことができる住環境をつくって欲しい。山王学区を東西で分断することなく、住みやすい街をつくっていただきたい。

◆事務局

今後、本エリアでの活動については、山王学区西側へもしっかりと良い影響を広げていきたいと考えている。

◆京都市地域・多文化交流ネットワークセンター 前川センター長

どうすれば若者世代が集まって来られるのかを皆さんとの対話を通じて考えていきたい。今後の連絡会議での活動に期待している。

◆事務局

事業者等の視点を活かして課題解決の糸口を探っていければと思う。本市が直接活用できるものとしては市営住宅や市有地の活用にはなるが、住みやすい街にしていきたいと考えており、そのためにも関係者での対話を重ねていきたい。

6 情報共有・情報交換について

ア 令和7年度における事業者・団体の取組予定

○各事業者・団体から取組予定内容の説明

イ その他

○意見交換（特になし）

7 閉会